船橋市議会議員

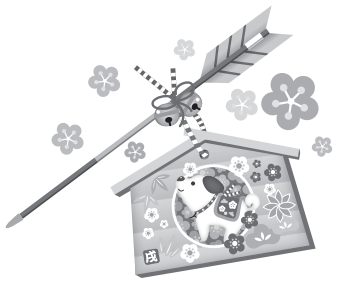
ひいろ健人（たけと）

市議会レポート
第42&43
合併号

発行：ひいろ健人（たけと）事務所　船橋市海神6-11-9　TEL 047-420-1800　FAX 047-420-1801

E-mail　info@taketo2784.net（フナバシ）　http://www.taketo2784.net（フナバシ）（活動ブログ更新中!）

■平成30年を迎えて ～持続可能な市政運営の実現に向けて～



気持ちも新たに平成30年を迎えました。

昨年を振り返ると、北朝鮮の核・ミサイルの脅威に端を発する安全保障問題や、天皇陛下の退位を巡る議論など、我が国の今後のあり方を根本から考えさせられる多くの課題と向き合った年であったと思います。同時に、船橋市にあっては市政施行80年の節目の年であり、多くの記念事業を経て新たな10年、そして100周年へ向けたスタートを切ることとなりました。また、私自身にとっても市議会議員として満10年の節目の年となり、改めてこれまでに皆様から頂いたご支援に感謝を申し上げます。このほか、6月の船橋市長選挙・船橋市議会議員補欠選挙に続き、突然の解散による10月の衆議院議員総選挙が行われ、国政・市政共に大きな節目の年でもありました。私も自由民主党船橋市支部の事務局長として目の回るような慌ただしい日々を過ごしましたが、いずれの選挙においても党公認・推薦候補が当選を果たすことができ、安堵しています。

本年は、再選を果たした松戸市長による２期目の市政も本格化し、少子高齢化をはじめ本市が直面する様々な課題に改めて取り組むこととなります。特に、市財政にあっては急増する公債費の償還に備え、より一層の行財政改革が求められており、議会としても十分にその権能を発揮して市政を監視するだけでなく、建設的な議論で民意を反映させ、持続可能な市政運営を実現していかなければなりません。私もこれまで培った経験をもとに、安定した市政運営はもとより、市民の皆様にとって「この街に住んで良かった」と思っていただけるような船橋市となるよう微力ながら尽くしていきたいと思います。本年も皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

平成30年　元旦　**日　色　健　人**

■可燃ごみの収集回数見直しへ ～週３回から２回へ、ごみ減量の見える化を！～

このたび市は、現在週３回行われている可燃ごみの収集を本年10月から週２回へと変更する方針を固め、議会また各町会・自治会等を通じた市民への説明に着手しました。３月議会に上程される予算案に、周知啓発等に必要な予算が計上される予定です。

今回の収集回数見直しの目的として、市は、①収集回数の減をきっかけに、分別等への意識が高まり、ごみ減量が期待されること（他市の例によると約５％の減）、②ごみ減量により、収集･焼却等処理経費の節減が見込まれること（５％減の場合、年間約２億4000万円の減）等を挙げています。また、こうした施策をとる背景には、当市が最終処分場を持たず、年間約14000ｔもの焼却灰を他県の最終処分場に委託して埋め立てていることや、当市の一人当たりの可燃ごみ排出量が県内他市や全国同規模の都市と比較しても多い（有価物として回収できる雑がみが多く混入している、食品ロスの量が多い）ことがあげられます。これについて、12月議会の一般質問において下記のとおり質疑を行いました。

日　色　当市の家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は県内他市、また他の中核市と比べても多いとのことだが、その理由は何だと考えているか。（逆に言えば、排出量が少ない市はなぜ少ないのか）

環境部長　本市の家庭から出る可燃ごみの他市との比較だが、県内で特に少ない野田市、流山市、柏市等に対して、一人一日当たり約110グラムほど多い状況である。こうした市のこれまでの経緯等については各市それぞれに実情の違いはあるが、それぞれの課題からごみの分別と減量に対する情報発信などの取り組みにより、市民全体のごみに対する意識が高くなって効果が出ていると考える。

日　色　ごみ減量を進めるためには、市民に当市の抱える課題、すなわち「なぜごみを減量しなければならないか」を明確に伝えて協力を求める必要があると考える。何をもって市民に訴えるのか、その絞り込みを行うべきではないか。

同時に、ごみの減量を市民に働きかけていく際には、取り組みの状況（どれだけ減ったか）をリアルタイムに市民に「見える化」していくことが必要また効果的と考える。排出量の推移を詳細に（例：日別、月別、地区別等）把握し、分析、公開する仕組みはあるか。

環境部長　市のホームページにおいて、年間及び月間のごみ量の推移を公表している。今後も定期的に減量と資源化の効果の「見える化」に努めたい。なお、提案いただいた地区別の集計結果の公表については効果があると考えることから、今後の収集回数の変更による新コース作成にあたって、収集エリア別等での収集量の集計ができるよう検討したい。

私は、このたびの見直しについて、ごみをできるだけ減らし、環境に負荷の少ない循環型社会を形成するうえで必要なことと評価をしています。市民の皆様には「今より不便になるのでは」との心配があるかもしれませんが、他市を見ても多くは週２回の収集で問題なく運営されています。ぜひごみ減量に向けたご協力をお願いしたいと思います。

■小児がんと闘うお子さん・保護者をサポート
～予防接種の再接種助成実施へ～

過日、私のもとに市内の保護者の方から1通のメールをいただきました。そこには、お子さんが小児がんを患われ、闘病生活を経験されたこと、また現在は無事に治療を終えたものの、治療の過程で、以前受けた予防接種により得た免疫が消失してしまい再接種を余儀なくされたが、この再接種には全国でもごく一部の自治体を除き公的な助成がなされていないことが記されていました。

早速調べたところ、いわゆる定期予防接種のうち、長期にわたり療養を必要とする疾病にかかったこと等により、やむを得ず定期の予防接種の機会を逸してしまったケースなど、特別の事情による場合には、公費で再接種を受けることができるのですが、今回の相談のように、一旦定められた期間内に接種した後に、白血病等により骨髄移植等の手術をうけるなど、病気の治療等のために免疫を消失し、任意で再度の予防接種を受ける場合には、上記例外にも当てはまらず、その費用負担について救済の方法が無いという問題が隠れていたのです。

これは、前述の「長期にわたる療養を必要とする疾病にかかったこと等によりやむを得ず接種の機会を逸した」ケースと一見同種の事案にもかかわらず、公費による救済の有無が左右されるという、患者また保護者にとっては理不尽な状態にあるともいえます。なお、今回の相談者の方はお子さんの健康を守るため、数万円の再接種費用を私費にて負担されていらっしゃいました。難病と闘うお子さんを見守るご家庭にとって、決して小さな金額ではないことはもちろん、まして経済的理由により再接種をあきらめるということがあってはならないと私は考えます。そこで、9月議会の一般質問でこの問題を取り上げました。

日　　色　過日、市民より「乳幼児の定期予防接種の実施後、医療上の理由により免疫が消失し、再接種を行った、このような場合に公費による助成等の制度はないか」との要望があった。現在当市では、こうした制度は無いとのことであるが、他市や国の動向を把握しているか。
また、当市におけるこのような事例の見込み件数、また他市同様の救済制度を導入した場合に必要な予算額はどの程度と考えているのか。

保健所理事　現在の予防接種法においては、再度定期接種を受けられる等の規定はない。国に対し照会したところ、自治体独自の救済制度を設けている事例があるとの回答を受け、該当する7市に聞き取り調査を行った。件数については少数と思われ、一人当たりの費用は10万円から20万円程度と考えている。

日　　色　このような制度は全国一律に整えられることが望ましいが、感染症予防の観点から、国、県の動きを待たず、当市においても早期の制度化による救済を実施すべきと考えるがどうか。

保健所理事　国の動向について引き続き情報を収集していくが、経済的な理由により接種を控えている子は、免疫力が低下した状態で感染症に罹患する恐れがあるため、事業開始時期が早い方が望ましいと考える。国や県が制度化を予定していない場合には、本市として早期の制度化を目指してまいりたい。

この質問ののち、担当課の努力により急ピッチで準備は進み、このたびの12月議会に制度実施に必要な補正予算案が上程、可決され、本年１月１日からの助成制度開始が実現することとなりました。１通のメールから、予算化また具体的な制度の実現まで結びつけることができ、小児がんと闘うお子さんまた保護者の方々の支えに少しでもなれたのであればこれに勝る喜びはありません。

■文教委員会行政視察報告
～学校をテーマに札幌市・秋田市を視察～

私の所属する文教委員会では、去る11月９日～10日に札幌市ならびに秋田市を視察しました。札幌市においては、「学校規模の適正化の取り組みについて」をテーマとして、札幌市立資生館小学校を、秋田市においては「学校施設の長寿命化について」をテーマに秋田市役所を訪問しました。

最初に伺った札幌市立資生館小学校は市内の繁華街すすきのからほど近い、市内中心部の小学校です。この学校は、平成15年に市内中心部の４小学校が合併し、あわせて保育園・子育て支援施設などの公共施設を併設して新築された複合施設となっています。担当者から説明を受けた後、施設の見学を行いました。船橋市においても、近い将来地域によっては児童生徒の数が減少し、小中学校の統廃合が必要になると考えられています。その際の地域の理解を得る取り組みや、施設・用地を有効活用する際の工夫など、示唆に富む視察となりました。

また、秋田市役所では、学校施設の長寿命化について、計画策定の目的や策定に係る業務の流れ、市内の学校の現状や調査、中長期的な保全計画、今後に向けての検討や分析などについて担当者より説明を受けました。船橋市内の小中学校は耐震化の工事を終え、今後はいかに施設を長く効率的に使用していけるか、修繕のタイミングや、建て替えの可否判断が重要となっていきます。他市の事例を参考にしながら、子供たちの学習環境をしっかりと守っていきたいと思います。

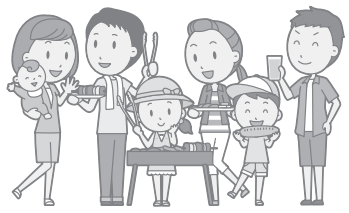
秋田市役所にて説明を受ける

複合施設化された札幌市立資生館小学校

■9月議会・12月議会一般質問

去る9月15日また12月5日に一般質問に登壇し、市執行部と議論を行いました。以下その模様をお伝えします。

★青少年キャンプ場の活性化にむけて ～さざんかの家に代わる宿泊研修施設を～



日　　色　青少年キャンプ場の活性化・利用促進について以前より訴えてきたが、本年度は青少年課主催の親子キャンプ等の事業が、昨年度より拡大して実施された。これらの事業の評価はどうか。聞くところによると、大変好評でいずれも２～３日で申し込みが満席になったとのことだが、市民の高いニーズに応えるべく、来年度は更なる事業拡大を図るべきと考えるがどうか。

生涯学習部長　今年の夏休みに青少年キャンプ場では「自然遊び体験」「クラフト工作」「親子デイキャンプ＆アウトドアクッキング」「親子キャンプ」の4つの事業を実施した。募集については、受付開始から概ね3日で全ての事業が定員を越え、キャンセル待ちでお受けした状況であった。

また、参加者へのアンケート結果から、初めて青少年キャンプ場を知った家族が半数以上と多く、ほとんどの家族が今後も利用したいと回答している。このようなことから、青少年の野外体験へのニーズが高く、キャンプ場の利用促進に有効な事業と考えるので、来年度はさらに事業拡大できるよう検討する。

日　　色　研修施設「さざんかの家」について、利用率は高いものの、近年では近隣から騒音に対する苦情が寄せられているほか、耐震性の面でも問題がある状況と聞く。市内における宿泊可能な研修施設の確保について早急に取り組む必要があると考えるがどうか。具体的には、キャンプ場敷地内にバンガローの設置や、あるいは既存の青少年会館の改築等が考えられるが、今後の方針を問う。

宿泊研修施設「さざんかの家」

生涯学習部長　「さざんかの家」には、議員ご指摘のような課題があり、宿泊研修施設としての運営に苦慮している。議員のご提案にあった青少年会館の宿泊施設としての改築も含め、青少年会館の活性策について専門に審議していただくため、青少年問題協議会に部会を設け、今後審議していただき方向性を検討していく。

★業務改革について ～指定管理者制度の更なる導入で一層の効率化を～

日　　色　平成27年度に実施された総務省「地方行政サービス改革の取り組み状況等に関する調査結果」について、この調査結果をどのように分析・評価しているか。

企画財政部長　この調査については、全都道府県及び市区町村の業務別の民間委託の実施状況や、施設種別ごとの指定管理者制度の導入状況を国が集約し、「見える化」及び比較可能な形で公表しているもの。他自治体の中で特に制度の導入が進んでいる自治体を知ることができるほか、全国平均や類似団体との比較が容易に行えることから、今後の市の行政サービスの取り組みの方向性を検討するうえで、重要な参考指標となるものと考えている。

日　　色　上記調査における船橋市の状況を他市と比較すると、指定管理者制度の導入が遅れていることが見て取れる。ついては、市営住宅、市営霊園、放課後ルーム及び児童ホーム、保健センター、運動公園やグラスポ等の体育施設について、指定管理者制度の導入の是非、検討の状況、今後の方針について伺う。

企画財政部長　議員ご指摘のとおり、本市の指定管理者制度の導入率は低い状況にあると認識している。本市においても要件の整った一部の施設に対して導入を行ってきたが、他市ではもっと広範囲にわたる分野で指定管理者制度の導入が進んでいる。議員が先ほど例として挙げた各施設も含め、導入の是非やその背景について検証を行うため、調査を進めている。また、船橋市行財政改革推進会議においてもテーマとして有識者の方々等のご意見をいただく予定である。

※指定管理者制度とは……指定管理者制度とは、平成15年9月の地方自治法の改正により創設されたもので、公の施設の管理運営を民間事業者やNPO法人等の指定管理者に一括して委任する制度です。
公の施設の管理運営について、それまでの管理委託制度の下においては、市の出資法人や公共的団体等に限定して、具体的な管理事務を委託していましたが、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するために、民間の創意工夫やノウハウを活かして住民サービスの向上を図るとともに、管理運営の効率化を図ることを目的として、民間事業者やNPO法人等も含めた幅広い団体に、施設の利用承認や使用許可等の処分性のある行為についてまで委任できるようになりました。現在船橋市では老人福祉センターなど34施設で導入されています。

■西船橋駅第10自転車等駐車場の増設工事が行われます

JR西船橋駅北口東側の線路沿いに設置されている西船橋駅第10自転車等駐輪場は利便性が高いことから利用者の多い状況が続いていますが、このたび２段ラックを導入して駐車可能台数の増を図ることとなり、関連する議案が可決されました。工事は平成30年度・31年度の２年間にわたって行われます。工事期間中、一時的に駐車可能な台数が減少することから、代替措置として京成西船駅南側の民有地を借り上げ、第15自転車等駐車場として整備することもあわせて決定されました。こちらは平成30年４月から供用開始される予定です。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、しばらくの間のご協力をお願いしたいと思います。

活動日誌

最近の主な活動の一部をご紹介します。

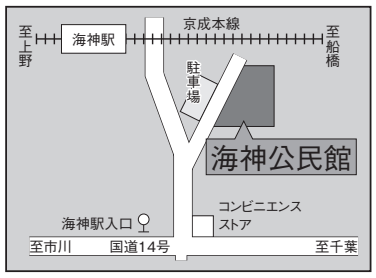
10月 1日（日）　本中山自治会町会連合会大運動会
10月 3日（火）　龍神社祭礼
10月 7日（土）　海神４・５丁目自治会地域まつり
10月 8日（日）　海神6丁目東町会敬老会
10月10日（火）～22日（日）　第48回衆議院議員総選挙
10月14日（土）　市川学園同窓会船橋支部総会
10月15日（日）　千葉県福祉援護会ローズまつり
にこにこ元気塾体育祭
10月24日（火）　議会運営委員会
10月27日（金）～28日（土）　議会　臨時会
11月 3日（金）　市政施行80周年記念式典・表彰式
11月 4日（土）　早稲田大学鵬志会創立30周年祝賀会
11月 5日（日）　前貝塚町会運動会
11月 5日（日）～7日（火）　会派行政視察（高知市、松山市）
11月 8日（水）　会派代表者会議
11月 9日（木）～10日（金）　文教委員会行政視察（札幌市、秋田市）
11月11日（土）　消防フェスティバル
海神中学校創立70周年記念祝賀会
11月12日（日）　市川学園創立80周年記念祝賀会
11月14日（火）　議会運営委員会
11月17日（金）～21日（火）　議会　開会日
11月20日（月）～11月24日（金）　議会　議案等説明
11月23日（木祝）　ボーイスカウト金時山登山
11月24日（金）　県民体育大会報告会
11月26日（日）　千葉県稲門祭
11月27日（月）～12月5日（火）　議会　議案質疑
11月28日（火）　議会　発議案質疑
11月29日（水）～12月7日（木）　議会　一般質問
12月 3日（日）　ボーイスカウト船橋地区団委員会・育成会長会同
12月 6日（水）～12月10日（日）　議会　総務委員会
12月10日（日）　海神6丁目東・西町会餅つき
12月11日（月）　保護司会定例研修・忘年会
12月18日（月）　議会　予算決算委員会総括質疑
12月19日（火）～12月22日（金）　議会　予算決算委員会討論・採決
議会　閉会日　ほか

■市政報告会を開催します

今年も市政報告会を開催します。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。
会費無料・事前参加申し込み不要

日　時：平成30年３月４日（日）
15時～16時半（受付14時半～）
場　所：海神公民館講堂
（公共交通機関をご利用ください）

会場のご案内
海神公民館
☎047-420-1001
海神6-3-36
京成海神駅から
徒歩約１分



■ホームページをご覧下さい

日色健人 Official Web Site では、市議会レポートのバックナンバーを掲載しているほか、会議録や質問動画へのリンク、活動ブログを日々（?）更新しています。お時間のあるときにぜひ一度ご覧下さい。

アドレスは
http://www.taketo2784.net/
（タケトフナバシ.ネット）です。
検索サイトで「日色健人」と入力いただいてもたどりつけます。

■朝の駅頭活動スケジュール

月	火	水	木	金
船橋駅	東船橋駅	海神駅 東海神駅ほか	西船橋駅	津田沼駅

※公務・急用・荒天などにより変更する場合があります。

■日色　健人（ひいろ・たけと）プロフィール

昭和53年船橋市生まれ　39歳　二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破（日本人初）。平成19年４月の船橋市議会議員選挙において初当選、現在３期目。自由民主党船橋市支部事務局長、議会運営委員会委員長、障害福祉推進議員連盟会長、私立幼稚園教育振興議員連盟幹事長兼事務局長、LGBT・性の多様性を考える議員連盟会長、会派「自由市政会」代表
地域での主な活動:ボーイスカウト船橋地区スカウト育成委員長（船橋第3団副団委員長）、船橋稲門会（早大OB会）事務局長、（公社）船橋青年会議所第46代理事長、保護司、船橋市カヌー協会会長、船橋市消防局市民音楽隊隊員、船橋市国際交流協会会員、日本山岳会会員ほか
趣　味:アウトドアスポーツ（山歩き、キャンプ、カヌー）
愛読書:ヘンリー・D・ソロー「森の生活」
座右の銘:Where there is a will, there is a way.

■編集後記

今年は私も満40歳、不惑の歳を迎えることとなります。これまでに得た経験をさらに磨き、地域のために働けるよう努力していきたいと思います。（健）

※公職選挙法の規定により、年賀状などの時候の挨拶に制限があります。なにとぞご了承ください。